

# チャレンジ鹿児島労働局（18年9月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町 13 - 21

099 - 223 - 8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

## 8月の有効求人倍率は0.60倍と前月と同水準に

鹿児島県の本年8月の有効求人倍率は0.60倍となり、前月と同水準となりました。

新規求人は、前年同月に比べ、医療・福祉業（27.2%増）、サービス業（26.5%増）、運輸業（21.7%増）などが増加し、全体では10.7%の増加となりました。

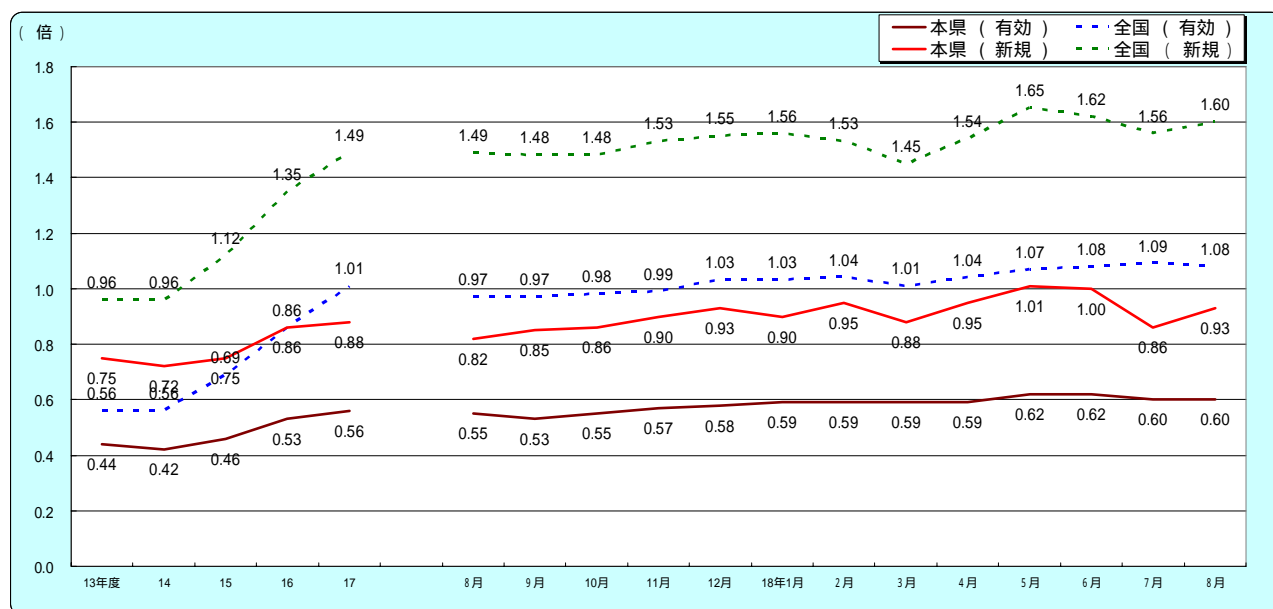
また、新規求職者については、前年同月に比べ離職求職者（6.5%減）などの減少により、全体では3.1%の減少となりました。

なお、ハローワークの紹介による就職件数は前年同月比で8か月連続で増加しています。

今後の雇用失業情勢については、求人は医療福祉業を中心に緩やかな増加傾向は続くと思われませんが、求職者の増減については不透明であり、今後の動向を注視して就職促進に努めていきたいと考えています。

（職業安定部職業安定課）

有効（新規）求人倍率の推移



## 「かごしま経済・雇用活性化プログラム」が取りまとめられました

鹿児島県の厳しい雇用情勢を踏まえ、国の支分部局、鹿児島県、市町村、経済団体等の参画機関(17 機関)により、鹿児島県地域雇用戦略会議を平成18年6月に発足したところでありますが、同会議の第1回会合において、「かごしま経済・雇用活性化プログラム」を策定し、地域経済・雇用の活性化を図りながら、鹿児島県と全国水準との「雇用格差の解消」を目指すことを合意したところです。

同プログラムは、各省庁・関係機関がそれぞれ持っている施策メニューやノウハウを効果的に組み合わせて、地域の雇用創造に取り組む市町村等を支援していくものとして、これまで鋭意検討を重ね、今般策定したものであります。

その骨格としては、

「まちの経済・産業の活性化策」として、市町村による地域の資源を活用した魅力あるまち作りを支援します。

「起業・創業、新分野展開の一貫支援策」として、個人・企業などによる積極的な起業・創業を進めるため、創業から経営安定まで一貫した支援を行います。

「重点分野における活性化策」として、雇用の受皿として今後期待できる「観光、福祉、食、企業立地」の重点分野を設定し、鹿児島県と国が協力して経済活性化・雇用創出を目指します。

今後、工程表に従って、各市町村等に対し、プログラムの活用に向けた説明会を開催するなど、同プログラムが広く活用されるよう関係機関が連携して働きかけを行っていき、また、各メニューについて事業概要や活用方法等についてわかりやすく紹介する「ガイドブック」を作成します。

当会議として、同プログラムに基づく支援等により、18年度末時点における新規求人数10%増を今年度の目標とし、3か年度で有効求人倍率1.0倍を目指します。

( 職業安定部職業安定課 )

## 10月は「高年齢者雇用支援月間」

### 「鹿児島県高年齢者雇用支援の集い」を10月20日に開催

急速な少子・高齢化が進む中で、活力ある社会を維持するためには、高年齢者の雇用を進め、意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働ける社会を実現していくことが必要です。

そこで、事業主をはじめ広く県民の関心を喚起するため、10月を「高年齢者雇用支援月間」と定め、その中心的な行事として、10月20日(金)13時30分から、「鹿児島県高年齢者雇用支援の集い」を城山観光ホテル(電話

099 - 224 - 2211)で開催します(共催 財団法人鹿児島県雇用支援協会・鹿児島県ほか)。

当日は、高年齢者雇用優良企業表彰、小里元労働大臣による記念講演のほか、各種相談コーナー(雇用管理・能力開発・助成金制度・教育訓練)を設けて、事業主の方々の相談に応じます。

(職業安定部職業対策課)

## 「大学生・短大生・若年者等のための就職面接会」を10月17日に実施～鹿児島県若者就職サポートセンター(キャッチワークかごしま)事業～

県内の大学、短大を取り巻く就職環境は、就職決定率が3年連続で前年を上回るなど改善がみられるところですが、なお未就職卒業者が多数存在するなど、依然として厳しいものがあります。

このため、来春卒業予定の大学生等及び若年失業者等に対して就職の応募機会を積極的に提供し、その円滑な就職を援助するとともに、県内企業の若年労働者の確保を推進するため就職面接会を開催します。開催当日は面接会に先立ち求職活動に必要な知識を習得するための就職講座及び企業説明会も実施することとなっています。

開催日時 平成18年10月17日(火)  
13時から17時まで(予定)

場 所 鹿児島アリーナ(鹿児島市永吉1-30-1)

対 象 平成19年3月大学・短大・専修・専門学校等の卒業予定者  
及び若年失業者・フリーター等

(職業安定部職業安定課)



昨年度の開催の様子

## 10月1日から7日は「全国労働衛生週間」

### 「労働衛生管理セミナー」を10月2日に開催

全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識の高揚を図るとともに、事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康の保持増進と快適な職場環境の形成を図ることを目的に、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年度で57回目を迎えます。

本年度のスローガンは「疲れてませんか 心とからだ みんなでつくろう健康職場」です。

鹿児島労働局では、9月の準備月間中に県内21会場（出席約1,800事業場）において週間説明会を開催し、準備月間中での日常の労働衛生活動の総点検実施事項について、10月1日（日）～7日（土）の本週間での労働衛生意識の高揚及び自主的な安全衛生管理活動の促進を図るための取り組みについて説明を行いました。

また、本週間には、県内事業場の労働衛生に携わる関係者が参集する「労働衛生管理セミナー」が10月2日（月）14時から鹿児島県医師会館で開催され、産業医活動の体験発表やストレスとその対処法についての特別講演が行われます。（鹿児島労働局後援、参加費無料、問い合わせ及び参加申し込みは鹿児島県労働基準協会・099-226-3622まで）

（労働基準部安全衛生課）

## 平成18年度仕事と家庭の両立を考える月間行事

### 仕事と家庭の両立を考えるセミナー開催について

10月25日（水）13時30分からステーションホテルニューカゴシマ（鹿児島市）において、仕事と生活のバランスのとれた働き方や男性の育児参加促進等、仕事と家庭を両立できる職場環境づくりに向けた企業等の取組みを進めるために、（財）21世紀職業財団鹿児島事務所主催、鹿児島労働局後援で、人事労務担当者を対象にセミナーを開催します。

講師は、厚生労働省の「仕事と生活の調和に関する検討会議」において座長として報告の取りまとめをされた、法政大学大学院政策科学研究科教授 諏訪康雄氏より「誰もが仕事と生活の両立を実現するために」と題して講演いただきます。

また、ファミリー・フレンドリー企業表彰鹿児島労働局長賞を受賞される社団法人川内市医師会 川内市医師会立市民病院の藤井事務課長より「仕事と家庭の両立をめざす職場環境づくり」と題して事例発表いただきます。

（雇用均等室）

## 平成18年度ファミリー・フレンドリー企業表彰の実施について

仕事と育児・介護とが両立できる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを行っている企業を、ファミリー・フレンドリー企業として、平成11年度より表彰しています。

平成18年度は、鹿児島労働局長賞に社団法人川内市医師会 川内市医師会立市民病院(薩摩川内市永利町)を表彰します。

表彰式は、10月25日に開催します「仕事と家庭の両立を考えるセミナー」(ステーションホテルニューカゴシマ・鹿児島市)の冒頭に行います。

(雇用均等室)